



修了生の声

有限会社 金星工業

小崎 里海 さん



平成25年10月 金属加工科（現 テクニカルメタルワーク科）入所（6ヶ月訓練）
平成26年4月 有限会社 金星工業 入社（勤続6年目）



なぜ金属加工科へ入所されたのですか？

友人が建設業界で働いており『鍛冶工』としての仕事を紹介されたのがきっかけです。

前職は看護助手でしたが『ものづくり』がやりたい気持ちが強かったので、あまり悩みませんでした。家族に相談した際も『やりたいならやってみれば？』という感じでした。

その頃に丁度ポリテクの金属加工科の募集があったので、入所しました。



現在はどうなお仕事をされていますか？ 苦労した点は？

工場内で製作をしたり、現場で据付をしたりしています。配管のTIG溶接をメインで実施しています。

最初は力仕事に苦労しました。クレーンや台車はあるのですが、極端に力持ちである必要はないのですが、多少人力を要する作業があり、最初は手伝ってもらったことがありました。しかし、負けず嫌いの性格も手伝って、徐々に力が付いて、今では殆どを自分でこなせるようになりました。最初は苦労しますが、女性でもこの仕事は何とかなります。

ちなみに、よくケガを怖がられる業界ですが、そもそもケガをする原因は周囲への不注意です。周囲に気づかって作業をすれば発生しませんし、現に事故に遭ったことはありません。



採用者の声

有限会社 金星工業

代表取締役 津留 良太 様



修了生や女性の採用はいかがでしたか？

ポリテク修了生だと『ものづくり』を経験してきているので、採用時に心構えが出来ている点が良いです。未経験者だと採用後にミスマッチが発覚することがあります。

小崎さんは初めての女性採用でしたが、工場に女性が入ることによって周りが気遣うようになり、社員間のコミュニケーションが活発化して明るくなりました。近隣の会社でも話題になり「うちも雇ってみようかな」とも言っていましたね。

体感としては建設現場の女性監督は前よりも増えている気がします。監督はよく職人から怒鳴られているイメージがありますが、女性監督はきっちりした人が多いのか、そんな光景は見かけません。もちろん個人の資質次第なのですが。

『女性だから勤まらない』なんてことはなく、男女問わず『自分がやりたいかどうか』が大切だと考えています。

有限会社 金星工業

〒299-0107

千葉県市原市姉崎海岸34番地

電話 : 0436-61-2033

FAX : 0436-61-2066

【事業内容】プラント配管工事、各種溶接



業界を目指す皆様へ一言お願いします。

【小崎さん】

この業界はやるのが毎日変わって楽しいです。出来るのが日々増えていくのも楽しいですね。

【津留社長】

我が社は各個人が『得意なものを楽しく』やることを大切にしています。昔と違い気遣ってくれる職人も多いので、ものづくりを『やりたい』気持ちがあれば、是非この業界への就職に挑戦してほしいです。